

# Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)



Niigata Award

2017/12/20 第28号

## 平成30年2月14日開催 食の新潟国際賞財団 新春講演会及び賀詞交歓会のご案内



※写真は前回のものです。

当財団恒例の新春講演会と賀詞交歓会を平成30年2月14日(水)にホテルイタリア軒で開催いたします。新春講演会には2017年10月に新潟市に新潟支局を開設され、創刊75周年を迎えられました日本食糧新聞社 代表取締役会長CEOの 今野 正義 氏を講師にお迎えし開催いたします。

講師の今野様は当食の新潟国際賞財団の評議員や食の新潟国際賞選考委員に御就任いただいているとともに「フードメッセ in にいがた」開催にも多大なご尽力をいただいております。

今野様からは50年にわたり、メディアの立場からウォッチしてきました食産業の変遷や食品問題、食品技術、消費者トレンドなど、食に関する幅広い分野について現場からの興味深いお話をお聞きできるものと思います。

皆様におかれては大変ご多忙な時期とは存じますが御出席いただきますようご案内いたします。

### ○ 賀詞交歓会・懇親会(会費制)の御案内

財団恒例の賀詞交歓会・懇親会を開催いたします。

毎年、賀詞交歓会には財団の御寄附者・会員の皆様をはじめ財団の事業にご協力をいただいている行政、在外公館、経済団体、企業など多くの皆様からも御出席いただいております。

今年も新春講演会の講師の皆様も交えて開催いたしますので是非多くの皆様の御出席をお待ちしております。



期 日 平成30年 2月14日(水) 17:00～(新春講演会終了後)  
会 場 ホテル イタリア軒 3階 「サンマルコ」  
会 費 5,000円(当日会場受付で納入下さい)

※写真は前回のものです。

## 平成30年新春講演会 開催概要

### 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 平成30年 新春講演会

1. 開催日時 平成30年2月14日(水) 15:30～16:50
2. 会場 ホテル イタリア軒 3階 サンマルコ  
(新潟市中央区西堀通7番町1574)
3. 定員 130名(講演会:無料、懇親会:会費5,000円)
4. 主催 公益財団法人 食の新潟国際賞財団
5. 演 台

「激変する食品・流通、生活者の姿と展望」  
＝戦後70年、メディアから見た変化と視点＝

講師 今野 正義 氏 日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO



※写真は前回のものです。

# 食の新潟国際賞財団 連続講演会 を開催しました

2017年、当財団では会員の方々への情報提供と事業発展の一助として、交流を兼ねて連続セミナー等を開催しております。

今回、食品産業界や関係団体機関への情報提供はもとより多角的な角度から情報収集と発信を続けられ、常に食品産業界の情報機関としてリードされている日本食糧新聞社様のご協力のもと、食品に関する情報を会員の方々を中心に提供する目的で2回に分けて連続講演会を開催いたしました。



## 第1回目

### 講演テーマ 近年の〈食品〉新製品動向

【食品ヒット大賞】過去受賞商品から

日時 平成29年7月24日(月) 14:00～16:00

会場 新潟日報メディアシップ 6階 ナレッジルーム



講師 武藤 麻実子(むとう まみこ) 氏

日本食糧新聞社 新製品事業部  
月刊「食品新製品トレンド」編集長

- ・お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科生活政策学博士前期課程修了
- ・平成13年日本食糧新聞社入社／新製品に関する情報に携わる
- ・日本食糧新聞「新製品ビュー版(現新製品ウオッチ)」デスク担当
- ・弊社主催による新製品研究会事務局担当
- ・月刊誌「食品 新製品トレンド」編集担当(平成18年編集長着任)
- ・平成29年4月開設“食べ方”サイト「たべぷろ」デスク担当

## 第2回目

### 講演テーマ 消費者に安全な商品を提供できる食品工場とは？

～実例をもとに現場での取り組み実態を探る～

日時 平成29年9月11日(月) 14:00～16:00

会場 新潟日報メディアシップ 6階 ナレッジルーム



講師 木下 猛統(きした たけのり) 氏

日本食糧新聞社 取締役  
月刊食品工場長 編集部 編集長  
ネット事業開発本部長

- ・1962年生まれ、埼玉県出身
- ・1987年日本大学法学部卒業、同年日刊工業新聞社入社
- ・2003年日本食糧新聞社入社
- ・2009年編集長就任、2015年取締役就任、現在に至る

## 「新潟・食と農のプレゼンテーション・交流会」を東京で開催

去る平成29年11月20日(月)、東京 表参道・新潟館ネスパスにおいて新潟市と当財団の主催で「新潟・食と農のプレゼンテーション・交流会」が開催されました。



この事業は「新たな食と農業の創造にチャレンジする新潟」をテーマに、新潟市の農業や食品産業のPR、「食の新潟国際賞」の紹介など新潟市と当財団の海外への周知の向上を目的に、公益財団法人フォーリン・プレスセンターの協力を得て初めて開催されました。

当日は東京在住の大使館、国際機関、海外ジャーナリスト、国際賞選考委員など財団関係者約70名が参加し盛況のうちに開催されました。

会場内には新潟市紹介コーナーとして新潟市農業や食品産業の紹介、農業特区の概要と取組事例や農業産品や食品、お酒などの展示・試食・試飲、「食の新潟国際賞」の紹介コーナーを設けPRしました。



篠田新潟市長が新潟市の農業や食品産業、農業特区の取り組みなど新しい動きについてプレゼンテーションを行い大きな関心呼びました。



当財団の池田 弘理事長から食の新潟国際賞の創設趣旨などの紹介に続き、「第5回食の新潟国際賞」の推薦募集について選考委員長の唐木英明氏から説明をいただきました。

## 「新潟・食と農のプレゼンテーション・交流会」を東京で開催

また当日過去の受賞者を代表して第4回食の新潟国際賞で佐野藤三郎特別賞を受賞されたマーシー・ニコル・ワイルダーさんから受賞の喜びをお話し頂きました。



引き続き行われた交流会では(公財)フォーリン・プレスセンター理事長の赤阪清隆氏の日本酒での乾杯で始まり、ネスパス新潟館内の新潟の味「静香庵」が用意した新潟県産を素材とした秋の味覚を満載したメニューと新潟県産酒で大変賑やかな交流会となりました。



なかでも新米の新之助のおにぎりや御鮭、のっぺ、ル レクチェ、りゅうのひげ(食用菊)、新潟和牛などが人気で高い評価をいただきました。



参加者からは「初めて新潟の農業や食品産業の発展と豊かさについて聞き、知り、味わい、何か今後も新潟との交流をしたい」との感想が寄せられました。

なお、財団の会員企業様から食品の展示や紹介、参加者へのお土産品のご協賛もいただきました。

## ● 特別会員

亀田製菓(株)  
(学)新潟総合学園  
佐藤食品工業(株)  
新潟県農業協同組合中央会  
(株)栗山米菓  
(株)新宣  
亀田商工会議所  
(株)電通東日本新潟支社  
NST新潟総合テレビ  
三菱商事(株)新潟支店

(株)ブルボン  
一正蒲鉾(株)  
(株)第四銀行  
亀田郷土地改良区  
(株)新潟日報社  
(株)エイケイ  
(株)新潟クボタ  
にいがた22の会  
(株)日本食糧新聞社  
ホテル日航新潟

## ● 正会員

新潟市農業協同組合  
新潟県信用組合  
(株)第一印刷所  
(株)本間組  
石本酒造(株)  
(株)ミカサ  
神山物産(株)  
丸七商事(株)  
ハセガワ化成工業(株)  
大東産業(株)  
藤屋段ボール(株)  
(株)タケショー  
(株)新潟博報堂  
BSN新潟放送  
新潟陸運(株)  
(株)新潟食品運輸  
山崎醸造(株)  
月島食品工業(株)  
(株)フジテレビジョン  
日本製粉(株)関東支店  
日本甜菜製糖(株)  
(株)鳥梅

(株)山由製作所  
新潟工科大学産学交流会  
(株)キタック  
北越工業(株)  
丸榮製粉(株)  
新潟万代島総合企画(株)  
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部  
(株)鈴木コーヒー  
TeNYテレビ新潟放送網  
(株)栗田工務店  
三和薬品(株)  
松田産業(株)  
セツソカートン(株)新潟工場  
(株)藤井商店  
日本精機(株)  
東邦産業(株)  
麒麟山酒造(株)  
(株)加島屋  
(株)日本フードリンク  
(株)アド・メディック  
UX新潟テレビ21

## ● 個人会員

藤島 安之  
大越 斎  
和田 充彦  
古泉 肇  
五十嵐 豊  
佐藤 銀治郎

宇野 勝雄  
新保 房機  
栗田 浩  
尾山 宏輔  
久保田 紳一  
和澄 孝男

塚本 太一  
牧 利幸  
井田 増夫  
高橋 常孝  
古泉 榮三

(順不同)

### 食の新潟応援団(賛助会)募集中!

食を通じて飢餓や貧困などに苦しむ世界の現状に目を向けると、日本にいる私たちにも食の危機が及びつつあり、世界の人々の命が一つにつながっていることがわかります。

食と私たちの命を守る本財団の事業に賛同し 応援して下さる皆様を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。ホームページ <http://www.niigata-award.jp/jp/join/>